

2004年5月6日

岡山市長
萩原誠司様

日本共産党岡山市議団
団長 藤沢和弥

岡山市立吉備病院の民間移譲について抗議と申し入れ

去る4月23日付、岡山市保健福祉局保健福祉総務課長名で「岡山市立吉備病院の移譲先公募にかかる意見募集の協力について(お願い)」が高松地区、足守地区の町内会長宛にとどけられました。この内容は移譲後の病院に対する要望を聞くという内容であります。岡山市立吉備病院は地域の方にとってはなくてはならない病院となっています。地域住民からも公立病院として存続建替えをもとめる要望がだされています。

しかし、当局は今年1月、岡山市立病院将来像検討委員会を設置し民間移譲の方針を決定し、その移譲先公募条件の素案について4月15日から5月14日までパブリックコメントを実施中です。4月27日に行われた保健福祉委員会と地域住民との懇談会においても「吉備病院が民間移譲されるのは知らなかった」などと驚きの声が出されました。あくまでもこの決定は検討委員会内での決定であり、保健福祉委員会でも集中審議が始まったばかりで議会の納得と議決は経っていません。当局が強引に「移譲ありき」で推進し、市民に行政の決定を押しつけるのは拙速であり大問題です。

また意見募集の最中、本日5月6日午後2時より岡山市吉備病院公募審査委員会委嘱式及び第一回審査委員会が開催されることになっています。市民の意見を十分に聞かない中での開催は拙速です。市民の理解や納得を十分に得られないまま民間移譲の方針を決め押しつけるやり方に抗議します。また民間移譲になれば公立病院としての性格が失われ、市民の命、福祉を守る義務のある自治体病院としての役割や継続性、公平性がどこまで担保出来るのかが危惧されます。

私たちは「吉備病院の移譲」という方針には反対です。十分な議会での論議を保障し、市民への説明会を開催など、拙速にすすめないよう申し入れます。